

# 一般社団法人川崎市観光協会 令和4年度事業報告

新型コロナウイルス感染対策も徐々に緩和され始めていますが、令和4年度におきましては、恒例の多摩川花火大会が中止となってしまい、3年続けて誠に残念な年となりました。

このような状況ではありましたが、新たな川崎の観光の創出を目指して、地域資源を活かした産業観光などについて、川崎市行政との連携のもとに、「ナイトマイクロツーリズム」など観光事業を推進してまいりました。

また、市内各地区観光協会との連携、観光事業への協力、市内の各種団体が市内各地で行うイベント等への支援を進め、賑わいのある街を創り出し、活気あふれる川崎市の街づくりに貢献するよう努めてまいりました。

さらに、当協会ホームページや川崎駅中央通路の「観光情報コーナー」のリニューアルを図り、国内、海外に向けた観光情報の積極的な発信を行うと共に、他都市の観光協会との連携事業などにより、川崎市内への旅行・観光客の誘致を図り、当協会の会員の力を結集して、元気な街「観光都市かわさき」の発展に取り組みました。

## I 各種の観光事業を推進する。

### 1 川崎市制記念多摩川花火大会の開催

秋の花火大会として定着しつつある「川崎市制記念多摩川花火大会」について、対岸の世田谷区たまがわ花火大会と同日開催により、第81回大会を次により行う予定でございましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

- (1) 主催 川崎市・川崎市観光協会・高津観光協会
- (2) 主管 神奈川新聞社
- (3) 日時 10月1日(土) 午後6時から
- (4) 会場 高津区多摩川河川敷(第三京浜道路と二子橋間の河川敷)
- (5) 花火総数 約6,000発

### 2 地区観光協会との連携による観光事業の推進

市内の地区観光協会と連携し、地域発の観光事業を進め、また、地区観光協会が地元のガイド団体と共同して取り組む観光関連事業に対して、適切な支援策を講じ、各地区観光協会との連携・協力の強化を図りました。

- (1) 第39回「住吉ざくら」さくら祭への支援  
住吉観光協会が主催する「住吉ざくら」さくら祭に対して後援し、助成を行いました。
- (2) 第9回「丸子の渡し祭り」への参加  
昨年中止となった「丸子の渡し祭り」が再開されるにあたり、丸子多摩川観光協会や武蔵中原観光協会とともに参加し、開催の支援・協力を行いました。  
また、これに併せて行われた「丸子多摩川観光協会 丸子の渡し花火」に対しても支援を行いました。

(3) 多摩区観光協会事業支援

多摩区観光協会が主催した「第3回生田緑地⇄多摩川ピクニックラリー」や、共催による第7回「食の祭典」の一部経費について助成を行いました。

(4) 麻生区観光協会への支援

第10回麻生区観光写真コンクールに川崎市観光協会賞として賞状、副賞を提供しました。

(5) 市内菊花展、菊花大会に対する支援

「関東川崎菊花大会」は中止となりましたが、川崎大師観光協会をはじめ地区観光協会が主催して開催する菊花展や菊花大会について、支援・協力を行いました。

(6) その他関係団体等への協賛、助成

川崎市長杯還暦・古希軟式野球大会、川崎美術協会展等への後援、助成を行いました。

3 観光関連ガイド団体との連携による観光事業の推進

(1) 川崎市ガイド団体連絡協議会の運営

川崎市ガイド団体連絡協議会の運営事務局として、ホームページを活用して、各団体の情報発信を行いました。

(2) ガイド団体活動への支援

市内ガイド団体の概要やガイドルートなどの記事を協会ホームページの観光ガイド団体サイトに掲載し、ガイド活動内容を広くPRすることにより、利用者の利便性を高めるよう努めました。

また、各ガイド団体が主催して行う観光イベントについてもホームページで紹介し、活動を支援しました。

4 観光事業・イベントなどへの後援、協賛

市内の各種団体が開催する観光イベント等に対して、後援や協賛を行い、また、協会の媒体を通じて市内外へのPRを行いました。

また、市内に立地する法人が開催する事業についても、観光情報コーナーでの案内チラシの配架などに協力し、市の内外からの観光客の誘致を図りました。

5 産業観光の推進

川崎産業観光振興協議会（学識経験者、関係企業、団体、行政で構成）と連携し、産業観光の推進に取り組みました。

(1) 工場夜景バスツアー（はとバス）、工場夜景クルーズ（長八海運）事業などの定期ツアーの実施に協力し、また、地元企業の協力をいただき、産業観光ツアーの実施に取り組みました。

- 工場夜景バスツアーは47回開催、延べ1,515人参加、工場夜景クルーズは32回開催、延べ1,853人参加。

(令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施に至らぬツアーが多かったためバスツアー8回、延べ235人、クルーズ9回、延べ283人の参加でしたが、令和4年度は、大幅に増加しました。)

- 9年ぶりに川崎市内発着(新百合ヶ丘駅、登戸駅、溝の口駅、武蔵小杉駅)のバスツアー造成に協力しました。17回催行、延べ296人参加。  
工場夜景観賞をメインにしつつ、東海道川崎宿400周年の前年ということ  
をふまえたツアー内容となりました。

(2) 新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、「安心安全」な観光施策に留意しました。また、市内各地に眠る資源を活かしたナイトマイクロツーリズムを推進し、市民のみならず川崎に訪れる機会となるような内容のツアー造成に協力をしました。

- 「ナイトマイクロツーリズム」ツアーとして15回開催、610人参加。
- 11月23日に川崎で初めて開催された「川崎夜市」とのコラボ企画では、バルチケットを参加特典とし、船やバスから工場夜景が鑑賞できるツアーの造成に協力し、即日で45名の定員に達する結果を得ることができました。

## II 観光情報の効果的な提供を行う。

### 1 観光情報発信機能の拡充

協会ホームページのリニューアルを実施して会員等の情報発信を強化すると共に適切な運用を期して、国内ユーザー数の多いツイッターなど情報通信サービスを利用した市内観光情報の発信に努めました。

### 2 情報発信に向けた関連団体等との協力

川崎市、川崎商工会議所、民間関連団体の協力を得て、食事、宿泊、行楽など各種の観光情報について、最新の情報提供に努めました。

### 3 川崎駅北口行政サービス施設「かわさき きたテラス」の運営

川崎市内の観光情報等を提供するため、観光案内所の運営を川崎市と共同して実施しました。また、観光案内情報やイベント情報の提供を行う観光情報コーナー、観光情報スポットの運営も行いました。

#### (1) 観光案内所

- ・場 所 川崎駅北口行政サービス施設「かわさき きたテラス」内
- ・運営時間 平日：9時から20時まで  
土・日・休日：9時から19時まで
- ・運営体制 常時2名以上(英語・中国語対応可)
- ・運 営 日 原則として年中無休
- ・従 事 者 川崎市との契約による人材派遣会社の派遣職員

## (2) 観光情報コーナー

リニューアルを行い明るい「観光情報コーナー」として生まれ変わりました。

- ・場 所 J R川崎駅東西自由通路内
- ・運営時間 8時から21時まで
- ・運営体制 無人
- ・運 営 日 年中無休

## 4 観光案内所などの外国語対応

外国人観光客に対する観光案内環境の整備について、川崎市による観光案内所の移転に合わせ、英語及び中国語で対応できる従事員（コンシェルジュ）が配置されました。

また、観光案内所や観光情報コーナーに、日本語版及び多言語版の観光ガイドブック「川崎日和り」、川崎市観光ガイドマップ「ようこそ！かわさきへ」（日英併記）を配架するなど、外国語の観光案内情報の提供を行いました。

## 5 情報誌と連携した広報活動

外部の観光情報誌への掲載によるPRを促進するため、川崎の観光情報や写真の提供を行いました。

## 6 川崎のお土産品の情報提供

### (1) 「かわさき名産品」認定品の普及・宣伝

かわさき名産品認定事業実行委員会（川崎市、川崎商工会議所、川崎市観光協会、関係団体で構成）が認定した「かわさき名産品」の知名度を高め、販路の拡大に結びつくよう、かわさき北テラスでの受託販売を行いました。

### (2) 地元のお土産品の情報提供

川崎の歴史や産業と結びついた川崎のお土産品について、観光産業の振興に向けて、問い合わせへの優先紹介などを行い、普及・宣伝に努めました。

### (3) 川崎大師のお土産情報

年間1千万人を超える参詣客が訪れる川崎大師界限のお土産品についても、若い世代を含めた新しい来街者の増加につながるよう情報提供に努めました。

## Ⅲ 観光誘客事業を強化する。

### 1 市外からの観光誘客作戦の展開

神奈川集中観光キャンペーン実行委員会が制作している「KURUPPU」への記事掲載を行うなど情報提供に努めました。

### 2 国内・海外都市との観光交流事業の推進

川崎の魅力を発信し、市民の観光交流を促進するため、鳥取県米子市、富山県氷見市、観光情報の提供や観光イベント事業への参加など観光交流を計画しております。

したが、残念ながら開催することはできませんでした。

これに対して、川崎市との事業連携締結自治体である大田区との観光分野での交流・連携事業を進める「大田区・川崎市観光まちづくり連携事業実行委員会」では、京浜急行電鉄(株)連携企画事業としまして、11月23日（水；勤労感謝の日）に、「大田・川崎クラフトビールフェス」を開催いたしました。

＊開催内容＊

(1) 京急川崎駅マルシェ

- ① 実施場所：京急川崎駅1番線・2番線ホーム
- ② 実施時間：11時～19時
- ③ 入場人員：2,695人

(2) 京急蒲田駅マルシェ

- ① 実施場所：京急蒲田駅5番線ホーム
- ② 実施時間：10時～11時、15時～16時

(3) クラフトビール列車

- ① 運行区間  
京急蒲田駅～品川駅～京急川崎駅～小島新田駅～京急川崎駅（2便運行）
- ② 乗客総数：115人

3 第66回川崎市観光写真コンクールの開催

「観光のまち・かわさき」の宣伝素材として活用するため、公募による観光写真コンクールを川崎市と協働で実施しました。

① 作品募集期間

令和4年11月～令和5年1月の3か月間

② 応募点数

(ア) 一般の部 93名、218点（昨年157名、382点）

(イ) 児童・生徒の部 41名、72点（昨年25名、46点）

③ 表彰式の開催 令和5年3月23日（木）川崎市産業振興会館

4 「東海道かわさき宿交流館」の指定管理業務

指定管理として引き続き交流館館長を当協会から派遣すると共に同館の自主事業の企画・実施も行いました。

5 伝統的な日本文化振興への取組み

第47回「川崎大師薪能」については、5月24日（火）に川崎大師平間寺特設舞台で実施されました。

6 外国人観光客の誘致

当協会の観光情報 Web サイトをリニューアルして自動翻訳機能を導入した英語、中国語（簡体・繁体）、及び韓国語による川崎の観光情報の提供を行うと共に、SNS等も利用して情報発信に努めました。

## IV 適正な法人運営に努める。

### 1 事務事業の再構築と財政基盤の強化

#### (1) 事務事業の見直し

観光人材の育成、観光資源の発掘、産業観光の商品化等の観光課題、訪日観光客に対応する基盤整備など条件整備について検討を進めました。

#### (2) 自主財源の拡充

健全な協会運営のためには、自主財源の確保が重要なことから、新規会員の獲得や産業観光等の企画監修料、ホームページバナー広告などの拡充に努めて参りました。

#### (3) 会員の加入促進

協会ホームページバナー広告の割引などととも、法人会員が実施するイベント事業への協賛、問い合わせに対する優先紹介を行うなどの会員サービスを行い、会員数の増加に努めました。

### 2 法人会議の開催

#### (1) 社員総会の開催

6月に定時社員総会を川崎市産業振興会館にて、新型コロナウイルス感染防止対策の緩和を踏まえ、本来の対面形式で開催いたしました。

また、令和5年3月に東海道かわさき宿交流館で開催しました臨時社員総会では、令和5年度の事業計画や収支予算が承認されました。

#### (2) 理事会の開催

社員総会と同様に、新型コロナウイルス感染防止対策の緩和を踏まえ、本来の対面形式で開催いたしました。5月には川崎市産業振興会館にて、社員総会決議事項であります事業報告、収支決算等についてご審議いただきました。

また、令和5年2月には、東海道かわさき宿交流館で、令和5年度の事業計画や収支予算等についてご審議いただきました。

#### (3) 監事監査への協力

4月21日(木)に川崎市産業振興会館において、末吉、浦野両監事による平成3年度の事業内容及び会計に関する監査を行っていただき、いずれも適正であるとの報告をいただきました。

### 3 予算要望活動の実施

地区観光協会等の要望を取りまとめたうえ、川崎市議会各会派(自民党、公明党、みらい)へ予算要望を行いました。

主な要望事項(新規1件、継続14件)

- 大型観光バスの駐車施設について
- 新交通システムの導入について

- 市制100周年記念花火大会の開催及び記念事業について
- 御幸公園の魅力向上について
- 橘地区の歴史的資源の利活用について
- 二ヶ領用水沿い桜並木の植樹と樹木の更新 他

#### 4 大都市観光協会連絡協議会への参加等

東京都及び政令指定都市の観光協会やコンベンション協会等の法人で構成する「大都市観光協会連絡協議会」に引き続き参加し、観光課題への対応や協会の組織運営などについて当協会の事務局運営に反映するよう努めました。

また、公益社団法人日本観光振興協会から観光事例や観光情報を収集し、協会事業の立案等への活用に努めました。